


ジェルキャンドルのお取り扱いについて

- ・実際にキャンドルとして使用していただけます。(火の始末にご注意ください)
- ・点火中はガラスの器が熱くなりますので、設置場所や火傷などに十分ご注意ください。
- ・小さなお子様やペットが手の届かないところでご使用ください。保管場所にもお気を付け下さい。
- ・透明なゼリー状の部分は石油系のワックスです。灯をとると芯が燃え、ワックスがゆっくりと溶けて減っていきます。(溶けた部分は琥珀色に変色します)
 - ⇒ 中の硝子細工が出てきたらお部屋に飾っても素敵です。
- ・ワックスは高温(80℃以上)になると緩みだしますので、平らな所でご使用下さい。
また、紫外線に反応すると琥珀色に変色するので直射日光を避けて置いて下さい。
- ・ワックス部分の細かな気泡は、時間と共にゆっくりと抜けていきます。
(通常は3ヶ月後位から変化しますが、長いと1年位かかる場合もあります)
- ・キャンドルとしての用途以外には使用しないで下さい(思わぬ事故に繋がる危険があります)

「ジェルライト」LEDライトのお取り扱いについて

- ・キャンドルにガラス台側を下にして乗せて下さい。赤と青の光が交互にゆっくりと変化します。
ご使用後はキャンドルから降ろしてください(時間がたつと重みでワックスに沈み込んでいきます)
- ・LEDは上部の蓋を右に回す(締める)と点灯し、左に回す(緩める)と消灯します。
強い力を加えるとガラス台から外れることがありますのでゆっくりと回してください。
- ・電池(アルカリ LR41 3個)の+と-を逆に使用したり、無理な力を加えたり、加熱しないで下さい。漏液、発熱、破裂の恐れがあり危険です。
(電池の文字面を上にとろえて3個重ねて組み込みます)
- ・ライト内の基盤を逆に設置すると点灯しませんので、外れた場合は向き(文字面を上)にします)をご確認の上組み込んで下さい。
- ・小さな部品や電池がありますので、小さなお子様やペットの手の届かない場所でご使用下さい。
- ・直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で、使用したり保管しないで下さい。
- ・キャンドル点火中にライトは使用しないで下さい。思わぬ事故に繋がる危険があります。
- ・ライトの光を直接見ないで下さい。目を傷める危険があります。



【お問い合わせ】

黄金崎クリスタルパーク 体験工房

TEL:0558-55-1515